

大子町新庁舎

自然とつなぐ だいごまちコモンホール



■ 建築概要

所在地 茨城県久慈郡大子町大字北田気662
構造・階数 木造2階建て
事業費 2,077,625千円
工期 令和3年3月～令和4年7月
施工者 株木建設株式会社 茨城本店

施設用途 大子町庁舎（行政棟・議会棟）
延床面積 5,074.95㎡
木工事費 206,805千円
設計者 株式会社 遠藤克彦建築研究所
木材供給者 (株)小池住建（集成材）
(株)WOOD BP関東（BP材）
(株)茨城木材相互市場（無垢材）外

■ 施設の概要・特徴

令和元年東日本台風で被災し、旧庁舎は移転建替を余儀なくされた。新庁舎は、林業が盛んな町ならではの「純木造」により町の中心拠点施設として、町民に寄り添いながら在り続ける庁舎としての佇まいと、林立する柱が森の中のような景観を創り出している。

■ 使用した木材や工夫した点

全体計画を進めるにあたり、「純木造」であることが訪れた人にわかりやすく伝わるよう配慮した。主要構造部にあたる部分は「燃え代設計」を採用することで「木部現し」を実現し、建物全体に木架構を展開した。また、方杖と柱の取り付け角度を3種類に絞るとともに、プレカット加工時等の合理化を図り、部材数の多い大規模木造建築において、今後のモデル的な建築物となることを目指した。

大梁には、茨城県内で製作している芯持ち正角材を特殊接着材で圧着した新しい材料であるBP材（束ね重ね材）を使用し、関東地方へのBP材普及のきっかけとなることを期待している。

樹種	使用量 (うち県産木材)	使用部
スギ	1,004.03m ³ (1,004.03m ³)	柱、大梁、小梁、方杖等
ヒノキ	0.3m ³ (0.3m ³)	土台(渡り廊下のみ)
アカマツ等	133.43m ³ (0m ³)	合板
計	1,137.76m ³ (1,004.33m ³)	

